

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月14日
【四半期会計期間】	第31期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	セントケア・ホールディング株式会社
【英訳名】	SAINT-CARE HOLDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森 猛
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋二丁目8番7号
【電話番号】	03-3538-2943（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 関根 竜哉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋二丁目8番7号
【電話番号】	03-3538-2943（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 関根 竜哉
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第30期 第3四半期 連結累計期間	第31期 第3四半期 連結累計期間	第30期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	18,888,208	21,439,773	25,298,025
経常利益	(千円)	1,144,825	1,212,911	1,436,254
四半期(当期)純利益	(千円)	678,876	670,797	856,038
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	672,413	668,644	848,988
純資産額	(千円)	3,732,642	4,495,809	3,909,216
総資産額	(千円)	10,756,921	12,953,382	11,320,207
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	94.44	93.31	119.08
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	93.90	92.63	118.39
自己資本比率	(%)	33.8	33.5	33.7

回次		第30期 第3四半期 連結会計期間	第31期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	38.24	31.10

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第3四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、主要な関係会社における異動は、次のとおりであります。

(介護サービス事業)

平成24年5月31日付で、株式会社福祉の街の株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間より連結子会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の公共投資が増加を続けているものの、海外経済の停滞から輸出は減少しており、景気は横ばいもしくは弱めの推移を見せております。

介護サービス業界では、平成24年4月1日の介護保険制度の改正により地域包括ケアシステムの実現に向けて「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「複合型サービス」などの新しいサービスが創設され、介護報酬の見直しが行われたことにより、各事業者はその対応に取り組んでまいりました。また、引き続き高齢化が進むなか介護サービスの需要は高まっておりますが、その一方で看護師等の有資格者の確保が難しい状態が続いており、人材採用が課題となっております。

このような状況の中で当社グループでは、介護報酬の改定等が行われたことに対応し、サービス体制の見直しを行ってまいりました。また、人材採用を引き続き強化すると同時に、新規に開設した営業所の集客に注力してまいりました。この結果、売上高は214億39百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は12億円（同5.5%増）、経常利益は12億12百万円（同5.9%増）となりました。四半期純利益は、税金費用が増加したことなどにより6億70百万円（同1.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

介護サービス事業では、訪問系サービスにおいて、訪問介護サービスや訪問看護サービス、訪問入浴サービスの人材採用を強化し新規顧客獲得に注力したことにより、お客様数の増加につながり、施設系サービスにおいては、前連結会計年度に開設した小規模多機能型居宅介護サービスなどで集客が進みました。また、平成24年6月から連結子会社となった株式会社福祉の街の収益を加えました。その結果、売上高は209億41百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は10億79百万円（同16.8%増）となりました。

・その他

その他では、セントワークス株式会社において介護保険請求ASPシステムの販売が順調に推移した結果、売上高は7億86百万円（同17.9%増）、営業利益は92百万円（同60.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当社グループは、今後展開する事業活動のための資金確保を前提とした、健全なバランスシートの維持に努めることを財務方針としております。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より16億33百万円（前期末比14.4%）増加し、129億53百万円となりました。

流動資産は、前期末より8億23百万円（同16.3%）増加し、58億63百万円となりました。これは主に売掛金が5億15百万円、現金及び預金が2億17百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より7億87百万円（同12.7%）増加し、70億5百万円となりました。これは主に有形固定資産が5億36百万円、差入保証金が1億99百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前期末より22百万円（同36.8%）増加し、84百万円となりました。

流動負債は、前期末より4億77百万円（同12.2%）増加し、43億93百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億19百万円減少した一方で、固定負債からの振替等に伴い1年内償還予定の社債が1億60百万円増加したこと、並びに1年内返済予定の長期借入金が1億73百万円、未払金が2億93百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より5億69百万円（同16.3%）増加し、40億63百万円となりました。これは主に長期借入金が4億32百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より5億86百万円（同15.0%）増加し、44億95百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億27百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,300,000
計	24,300,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,188,600	7,188,600	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,188,600	7,188,600		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日 (注)	7,116,714	7,188,600		1,009,839		841,789

(注)平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行ったことによるものであります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）			
完全議決権株式（その他）	普通株式 71,886	71,886	
単元未満株式			
発行済株式総数	71,886		
総株主の議決権		71,886	

（注）平成24年10月1日をもって、1株を100株に株式分割するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用しておりますが、記載数値は当該株式分割を反映しておりません。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,480	1,793,639
売掛金	2,953,518 ²	3,468,905 ²
たな卸資産	77,242	79,421
その他	437,948	529,121
貸倒引当金	4,640	7,501
流動資産合計	5,040,549	5,863,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,272,268	1,408,418
リース資産(純額)	1,031,906	1,359,067
その他(純額)	468,822	542,000
有形固定資産	2,772,997	3,309,486
無形固定資産		
のれん	785,848 ⁴	840,071 ⁴
その他	351,194	330,503
無形固定資産合計	1,137,042	1,170,574
投資その他の資産		
差入保証金	1,597,466	1,796,939
その他	712,063	729,974
貸倒引当金	1,364	1,274
投資その他の資産合計	2,308,165	2,525,639
固定資産合計	6,218,205	7,005,700
繰延資産	61,452	84,097
資産合計	11,320,207	12,953,382
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,161	354,275
1年内返済予定の長期借入金	513,618 ³	687,572 ³
1年内償還予定の社債	220,000	380,000
未払金	1,703,037	1,996,941
未払法人税等	338,408	219,066
賞与引当金	165,993	175,463
その他	697,155	580,578
流動負債合計	3,916,375	4,393,897
固定負債		
社債	380,000	40,000
長期借入金	1,288,697 ³	1,720,742 ³
リース債務	1,006,626	1,394,206
退職給付引当金	480,600	590,984
資産除去債務	22,204	31,326
その他	316,487	286,416
固定負債合計	3,494,615	4,063,675
負債合計	7,410,990	8,457,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,009,839	1,009,839
資本剰余金	841,789	841,789
利益剰余金	1,966,060	2,493,085
株主資本合計	3,817,688	4,344,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,343	19
その他の包括利益累計額合計	3,343	19
新株予約権	25,177	35,532
少数株主持分	69,694	115,582
純資産合計	3,909,216	4,495,809
負債純資産合計	11,320,207	12,953,382

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,888,208	21,439,773
売上原価	15,997,545	18,339,101
売上総利益	2,890,663	3,100,671
販売費及び一般管理費	1,752,318	1,899,785
営業利益	1,138,344	1,200,886
営業外収益		
受取利息	5,601	4,521
受取配当金	3,405	3,590
受取保険金	5,842	8,397
受取家賃	10,593	9,088
補助金収入	22,484	29,127
助成金収入	13,388	25,385
その他	14,190	14,708
営業外収益合計	75,507	94,819
営業外費用		
支払利息	54,407	64,554
その他	14,618	18,239
営業外費用合計	69,026	82,794
経常利益	1,144,825	1,212,911
特別利益		
固定資産売却益	238	-
補助金収入	18,047	147,796
助成金収入	18,145	-
持分変動利益	4,040	-
その他	-	3,134
特別利益合計	40,471	150,931
特別損失		
固定資産除却損	3,268	6,940
固定資産圧縮損	17,882	146,763
減損損失	-	6,613
災害による損失	12,996	-
和解金	-	26,700
特別損失合計	34,147	187,016
税金等調整前四半期純利益	1,151,149	1,176,825
法人税等	475,303	511,505
少数株主損益調整前四半期純利益	675,845	665,320
少数株主損失()	3,030	5,477
四半期純利益	678,876	670,797

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	675,845	665,320
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,432	3,324
その他の包括利益合計	3,432	3,324
四半期包括利益	672,413	668,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675,443	674,121
少数株主に係る四半期包括利益	3,030	5,477

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社福祉の街を連結の範囲に含めております。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社福祉の街は5月31日から3月31日へ決算期の変更を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては連結対象となった6月以降12月末までの7ヶ月分の損益を取り込んでおります。なお、同社は第1四半期連結会計期間において6月末で仮決算を行っているため、当該決算期の変更による影響はありません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 預託金預託委託

一部の賃貸物件の差入保証金について一部の連結子会社、貸主及び金融機関との間で代預託契約を結んでおります。

当該契約に基づき、金融機関は貸主に対して保証金相当額を預託しており、一部の連結子会社は貸主が金融機関に対して負う当該預託金の返還債務を保証しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
貸主	39,248千円	10,029千円

2 債権譲渡残高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
売掛金	1,123,300千円	1,175,400千円

3 財務制限条項

1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計額の内、以下の金額には財務制限条項が付されており、各条項のいずれかに抵触した場合には、当該借入金の適用利率の変更及び返済期間を短縮することがあります。

各年度の決算期の末日における連結貸借対照表の純資産の部の金額を当該決算日の直前の決算期の末日又は平成19年3月期の末日における純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。

連結年度決算書において、損益計算書の経常損益の金額を2期連続して損失としないこと。

連結年度決算書において、有利子負債残高から現預金及び正常運転資金額を減じた金額を、当該連結決算期における経常利益の金額と償却費の合計金額から税金等支払額の合計金額を減じた金額で除して得た数値が10を上回らないこと。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
1年内返済予定の長期借入金 及び長期借入金	345,000千円	300,000千円

4 のれん及び負ののれんの表示

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
のれん	789,696千円	843,705千円
負ののれん	3,848	3,634
計	785,848	840,071

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	240,222千円	334,268千円
のれんの償却額	138,877	114,564
負ののれんの償却額	4,067	213

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	122,206	1,700	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,772	2,000	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	18,471,135	18,471,135	417,073	18,888,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	600	600	249,550	250,150
計	18,471,735	18,471,735	666,623	19,138,358
セグメント利益	924,413	924,413	57,467	981,880

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	924,413
「その他」の区分の利益	57,467
セグメント間取引消去	1,334,661
のれんの償却額	438
全社費用(注)	1,178,636
四半期連結損益計算書の営業利益	1,138,344

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第3四半期連結会計期間において、重要な発生・変動はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	20,938,379	20,938,379	501,393	21,439,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,705	2,705	284,848	287,553
計	20,941,085	20,941,085	786,241	21,727,326
セグメント利益	1,079,789	1,079,789	92,164	1,171,953

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院、介護保険請求ASPシステムの販売、少額短期保険業等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,079,789
「その他」の区分の利益	92,164
セグメント間取引消去	1,243,494
のれんの償却額	213
全社費用（注）	1,214,775
四半期連結損益計算書の営業利益	1,200,886

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「介護サービス事業」セグメントにおいて、株式取得により株式会社福祉の街を子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては160,001千円であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	94円44銭	93円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	678,876	670,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	678,876	670,797
普通株式の期中平均株式数(株)	7,188,600	7,188,600
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	93円90銭	92円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	40,885	53,130
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成24年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月12日

セントケア・ホールディング株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊 藤 文 男

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野 口 昌 邦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセントケア・ホールディング株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セントケア・ホールディング株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。